

新庄市 春の最上公園



mogami ecopolis tsushin

山形県最上総合支庁 隔月発行
最新情報はX(旧ツイッター)でご覧ください



最上総合支庁長就任のごあいさつ

最上総合支庁長就任にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

県民生活に大きな影響を及ぼしてきた新型コロナウイルス感染症については昨年5月に5類へと移行され、通常の日常が戻りつつあります。

こうした中、この最上地域においては、昨年10月に新県立新庄病院がオープンし、また、この3月には山形新幹線新型車両E8系の運行が始まり、更に4月には最上地域初の4年制大学となる「東北農林専門職大学」が開学するなど、新たな時代を拓く出来事が続いており、交流人口の増加や医療体制の充実などを含めて最上地域の発展が大いに期待されています。

私は最上総合支庁の勤務は初めてとなりますが、このまたとない機会を捉えて地域の皆様や市町村並びに関係機関の方々との力を合わせながら、若者定着並びに地域産業の振興や観光誘客・交流人口の拡大、地域医療福祉の充実など、最上地域の更なる発展に向け全力で取り組んでまいりますので、よろしくお願いたします。



最上総合支庁長 紫崎 渉

最上地域政策研究所 第6期の研究活動の成果を報告 & 将来世代を豊かにするための考え方を学ぶ

3月8日、最上地域の課題解決につながる政策研究を行うために設置した「最上地域政策研究所」の第6期の研究活動の終了式、記念講演を新庄市エコロジーガーデンで開催しました。第6期(R4~R5)は「デジタル化の進展を見据えた新たな施策の展開」をテーマに研究を行い、研究成果をまとめた報告書を研究所長である最上総合支庁長へ提出しました。報告書では、デジタルは「手段」であり「目的」ではないことを前提とし、将来を見据え、時代の変化に対応していくために必要な施策を提案しました。

記念講演では、(一社)フューチャー・デザイン 代表理事 西條辰義氏を講師に迎え、将来世代に持続可能な自然環境と人間社会を引き継いでいくための社会の仕組みのデザインと実践していく「フューチャー・デザイン」について、自治体での活用事例を交えて講演いただいたほか、実際にフューチャー・デザインで2050年の最上地域の暮らしを考えるワークショップも行いました。

[連携支援室 29-1239]



新庄・最上ジモト大学 2023 Playback



地域の大人と高校生が地域のことを本気で語り、学び、交流する場である「新庄・最上ジモト大学」では、昨年度 39 プログラムを実施し、延べ 844 名の高校生に参加いただきました。昨年度から高校生が“地元でやりたいこと”を自ら企画し、地域の大人や企業がジモト大学サポーターとして応援する取組みもスタートしました。プログラムへの参加をきっかけに同世代の仲間や地域とつながり、新たな活動を始める高校生も出始めています。

■高校生発案イベント「Fiesta Festa2023」がさらにパワーアップ！

2月24日・25日に、1回目のプログラムに参加した新庄東高生が中心となり、こらっせ新庄でのダンスイベント等を内容とする2回目のプログラムを企画。高校生が中学生に司会を任せるなど、次の世代に教えていく流れも見られました。

■新庄手話まつりで絵本の読み聞かせを披露！

3月10日、プログラムへの参加をきっかけに手話を学び始めた新庄北高生が新庄手話まつり（主催 新庄市聴覚障害者協会）に参加し、手話を交えた演劇や絵本の読み聞かせなどを披露し、イベントを盛り上げてくれました。

今年度でジモト大学は8年目を迎えます。高校生と大人がともに学び、地域の新たな活力を生み出す場となっていくよう、引き続き、地域一体となって取り組んでまいります。
[連携支援室 29-1236]



令和5年度 最上地域から医師を目指そう！中学生応援事業「医師の魅力発信セミナー」

2月25日、新庄市民プラザを会場にすがはら内科クリニック院長の菅原心平先生をゲストにお迎えし、医師という職業の魅力を発信する「医師の魅力発信セミナー」を開催しました。このセミナーは、最上地域で特に深刻である医師不足の解消に向け、医師という職業の将来像を具体的にイメージでき、その魅力を発見・認識してもらう機会を提供し、医師を目指す生徒のみなさんを応援したいという趣旨のもと、最上地域の中学生及び保護者を対象として、初めて開催したものです。

最初に菅原先生から「私が医師を目指したとき」というテーマでご講演いただいた後、後半のフリートークでは、中学・高校・医学部時代の過ごし方や、中学～高校の間にしておいた方がよいこと、仕事のやりがいや大変なこと、心がけていること、といった多岐に渡るテーマでお話いただきました。

参加者からは、「医師という職業の魅力についてよく分かったし、私も目指したいと思いました」、「実際に医師になった先生の意見を聞けてとても貴重な経験になりました」などの感想をいただきました。

令和6年度以降も、より内容を充実させ、医師を目指す中学生のみなさんを支援、後押しできるような取組みを継続してまいります。

[保健企画課 29-1257]



新規就農者研修会を開催しました

新たに就農し農業経営に取り組んでいる方、また今春営農をスタートしようと計画している方が意欲的に経営展開できるようにするため、3月4日“ゆめりあ”（新庄市）において新規就農者研修会を開催しました。当日、12名の新規就農者が参加し、アドバイザーとして営農経験豊富な農業士の皆さんと市町村・JA、農林大学校の担当職員に協力いただきました。

研修会では、農業振興課職員が新規就農者を支援する制度、事業の概要を説明し、その後農業技術普及課職員が進行役となり、5つのテーブルに分かれて相談会を行いました。また、聞き足りなかったことの情報収集や連絡先の交換を行う交流タイムも設けました。参加者は営農する上での不安が解消され、経営展開に自信を深めることができたものと思います。

農業は地域経済を支える基幹産業であり、その発展が不可欠です。最上総合支庁では持続的発展の担い手となる新規就農者が意欲的に営農に取り組めるよう、今後も関係機関とともにサポートしていきます。



[農業技術普及課 29-1322]

最上地域畜産関係共励会表彰式

2月13日、最上総合支庁講堂で令和5年度最上地域畜産関係共励会表彰式が開催（主催：最上地域農業・畜産振興協議会）され、各共励会（3部門6区分）入賞者に賞状と副賞が贈呈されました。

本行事は、肉用子牛の発育性、和牛の肥育状況、生乳の品質などを厳正に審査の上、優秀者を表彰することで、最上地域の畜産農家の生産意欲を高め、飼育技術や畜産物の品質を高めていくことがねらいです。各共励会で序列1位を受賞された方は下表のとおりとなっております。

部門	区分	市町村	氏名（敬称略）
肉用子牛出荷共励会	第1部	新庄市	山科三夫
	第2部	最上町	大場啓一
	第3部	新庄市	鈴木克彦
牛枝肉共励会		金山町	加藤優志
乳質改善共励会	第1部	新庄市	保角義文
	第2部	新庄市	鈴木藤雄

[農業振興課 29-1318]



受賞者の皆様

令和5年度もがみ食産業創出求評会を開催しました

最上地域の顔となる「売れる商品の創出」を目的に、2月29日に新庄市民プラザ第5・6研修室において令和5年度もがみ食産業創出求評会を開催しました。

求評会では最上管内の事業者が提案した新商品に対し、各分野の専門家からブラッシュアップや販路拡大につながるような助言が行われました。当日は、4事業者の計6商品の求評が行われ、販売先を店舗だけでなく飲食店・旅館業と連携するアイデアなど具体的な提案がなされました。



求評中の様子



提案された新商品

＜提案された新商品の一覧＞

- 「冷凍おはぎ」
雪のおはぎ 風花（かざはな）
〔真室川町〕
- 「畑なすジェラート」
松田 佳祐〔新庄市〕
- 「ビーナッツロール」
新庄信用金庫
※新庄市内菓子店（おかしの家）との連携
- 「きのこ麴」「あら、きのこ」
「きのこクリームチーズディップ」
工房七つの里〔鮭川村〕

[地域産業経済課 29-1307]

第101回最上夜学について

3月12日に新庄信用金庫レキシントン新庄において令和5年度最後となる第101回最上夜学を開催しました。

最上夜学は、産学官連携のきっかけ作りの場として、平成15年度から開催している事業です。今回はテーマを「予防医学の視点からみた健康食品の最前線」として『農から健幸（けんこう）をつくる』をミッションに研究を展開している山形大学農学部の五領田 小百合（ごりょうだ さゆり）助教から、商品開発のヒントとなるような最新研究事例を交えながら、話題提供をいただきました。

当日は生産者や加工者などの参加者から活発な質問が出され、話題提供後は交流会を開催し、活発な意見交換が行われ、繋がりづくりの機会となりました。



話題提供の様子



参加者の皆さん

[地域産業経済課 29-1307]

ふれあいの道路愛護団体及び河川愛護活動団体等交流会の開催について

3月7日、「山形県ふれあいの道路愛護事業」及び「山形県ふるさとの川愛護活動支援事業」に携わる団体・企業・市町村を対象に講堂で交流会を開催しました。団体・企業の方々には、日頃から県管理の道路や河川においてゴミ拾いや草刈りなど美化活動等に組み込んでいただいておりますが、近年、高齢化や参加者の減少などにより活動が制限される等の課題を抱えられています。

そのため、何か解決策を見出せないかと、相互に意見交換等を行い、課題や対応策など情報共有を図りながら、最後はグループごとに取りまとめた意見の発表を行いました。

「普段、意見を交わす機会が少ない団体・企業・市町村同士にとってとても有意義な時間だった。」

「こういった交流会は今後も開催して欲しい。」等の感想をいただきました。



[建設総務課 29-1376]

第8回最上小国川写真コンテスト表彰式

最上小国川清流未来振興機構主催の「第8回最上小国川写真コンテスト」の表彰式を、2月6日に最上町中央公民館で開催しました。

審査委員である県写真連盟の阿部会長からは、「年々作品のレベルが高くなってきて、入賞作品を選ぶのに苦労した。」との講評をいただき、入賞者からは撮影時のエピソードや作品への思いなどをお話いただきました。

入賞作品は、最上小国川清流未来振興機構 HP や Instagram のほか、県庁や芸文美術館、新庄駅等への巡回展示により広く発信してまいります。



[連携支援室
29-1239]

最上地域医療的ケア児支援連絡会

3月12日に最上センター薬局会議室にて最上地域医療的ケア児支援連絡会を開催しました。

今回は、個別支援計画作成に係る取組紹介の動画視聴後に、速やかに避難行動がとれるように支援者間で情報・意見交換を行いました。

最上総合支庁では、医療的ケア児の支援者（主治医、相談支援専門員、訪問看護師等）とともに、市町村（保健・福祉・防災担当）による災害時（大雪による停電を含む）の個別避難計画作成について、支援してまいります。

[子ども家庭支援課 29-1361]



企業と連携した適塩ランチの提供

減塩でもおいしく食べる工夫をお知らせし、健康的な食生活を実践するきっかけとさせていただくため、最上総合支庁の食堂では、おいしい減塩ランチを年4回提供しています。

2月9日には、山形航空電子株式会社で同じメニューが社員の健康保持増進のための取組の一環として、社員食堂で提供されました。社員のみなさんからは「薄味だが十分おいしく食べられた。」などの感想が聞かれました。

今後も定期的に提供予定です。

メニュー→



[地域健康福祉課 29-1257]



「健康づくり講演会」3/11 開催

新庄病院図書室に保健所の健康情報発信拠点を設置した記念の講演会として、「健康寿命延伸」をテーマに開催しました。

佐藤保健福祉環境部長のあいさつ、新庄病院八戸院長の来賓あいさつの後、新庄病院生活習慣病予防・対策部長 奥本和夫先生の「健康長寿のために大切なこと」、県立米沢栄養大学健康栄養学部教授 加藤守匡先生の「運動で手に入れる、脳と身体の健康」を演題としたご講演をお聞きしました。

参加者約70名は、毎年健診を受診すること、バランスよく食べて、楽しめる運動を続けてすることなど、健康長寿の秘訣を学びました。

[地域健康福祉課 29-1257]



インバウンド向けガイド研修会

2月14日、最上地域観光協議会（事務局：最上総合支庁観光振興室）では、拡大しているインバウンド需要に対応するため、最上地域のガイドや観光業関係者に対して、インバウンド向けガイド研修会を開催しました。

当日は、最上地域内の宿泊施設のスタッフや観光ガイドなど19名が参加しました。座学では、最近のインバウンドの動向や外国人観光客をガイドする際に気を付けることなどを講師が紹介し、現地研修では、肘折温泉散策を題材としてガイドのやり方などを学びました。

皆さんも最上地域を訪れる旅行者を
笑顔で“おもてなし”しましょう！



座学



現地研修：肘折温泉
[観光振興室 29-1311]

魅力的な農産物・農産加工品の販売に向けて

3月1日、最上総合支庁講堂において、農産加工や直売を行っている生産者と産地直売所関係者23名を対象に「販売力アップ研修会」を開催しました。直売所で店長を経験し、現在はコンサルタントとして活躍している(株)シンセニアン代表の勝本吉伸氏を講師に招き、野菜の鮮度と品質を保つ包装方法、商品の魅力が伝わるPOP（説明）の書き方、加工品開発のポイント等を学びました。

当課では、今後も産地直売所の活動を支援していきます。ぜひ直売所へ足を運んでいただき、生産者や直売所スタッフの努力と思いが詰まった商品を手にとってみてください！

[農業技術普及課 29-1331]



お知らせ



山形県春の観光キャンペーン開催中！

4月1日から6月30日まで、JR東日本と連携した「山形県春の観光キャンペーン」を開催中です。「心ほどけるやまがた」をキャッチフレーズに、これまで地域の「人」が守り育ててきた美食・美酒、温泉、自然、歴史・文化、祭、田舎暮らしをテーマとした“心ほどける”企画を県内各地で開催します。最上地域でも特別企画が盛りだくさん！ぜひご参加ください。

- ❖ ひじおりの灯・肘折ダムライトアップ特別開催
春の夜風を感じながら、夜の温泉街の散策をお楽しみください。
開催日：ひじおりの灯 4月27日から6月16日
肘折ダムライトアップ 5月31日、6月毎週土曜日



- ❖ 幻想の森トレッキング&チェアリング
天然杉の巨木群生地「幻想の森」で、巨木たちと一緒に
コーヒーブレイクしませんか？
開催日：6月2日（要予約）



- ❖ 「川×テントサウナ=ととのう？」
最上小国川テントサウナ体験イベント
清流最上小国川と自然に囲まれた空間で、
「ととのう」体験をしてみませんか？
開催日：5月26日（要予約）



↑最上地域の“春”の
観光情報はこちらから
(最上地域観光協議会 HP)

[観光振興室 29-1311]

最上地域への移住を地域一体でPR!
移住情報サイト「もがみ暮らしネット」開設!

最上地域移住交流推進協議会では、地域の魅力や暮らしの情報を広く発信することにより、最上地域への移住・定住に結び付けるため、移住情報サイトを開設しました。最上地域の市町村紹介や移住者のインタビュー、移住支援情報など、人や暮らしの様子をお伝えしていきます。

🔍 もがみ暮らしネット

<https://mogami-iju.net/>



[連携支援室 29-1238]

不法投棄監視合同パトロールと不法投棄防止啓発キャンペーンを実施します。

山形県が設定する「不法投棄監視及び海岸漂着ごみ削減強化月間（5月1日～6月9日）」にあわせて、県、市町村、衛生連組合等が合同で不法投棄監視合同パトロールを行います。



R5 パトロール出発式の様子

また、5月8日には新庄市内の大型店舗や道の駅において、啓発チラシを配布し、不法投棄の防止や情報提供を呼びかけます。

[環境課 29-1287]

「適塩ランチ」でおいしく健康に

5年目を迎える「おいしい適塩ランチ」。
今年度も最上総合支庁の食堂で年間4回の提供を予定しています。
一般の方も利用できますので、適塩でもおいしい野菜たっぷりのメニューをお試しいただき、毎日の食生活の参考にしてはいかがでしょうか。



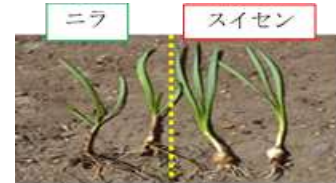
場所：最上総合支庁「千起」
日時： 6/19(水)・9/19(木)
12/19(木)・2/19(水)

[地域健康福祉課 29-1267]

有毒植物による食中毒に気をつけましょう!

スイセンをニラと間違えるなど、有毒植物を野菜や山菜と間違え食べる食中毒が発生しています。誤食を防ぐため、次のことに注意しましょう。

- ★食用の植物と確実に判断できない植物は、**絶対に採らない・食べない・売らない・譲らない。**
- ★山野では、**山菜と有毒植物が混生**することがあるので、慎重に採りましょう。
- ★山野草を食べて、異常を感じたときは、残品を持って早急に医療機関を受診しましょう。



有毒：スイセン
ニラのような匂いはない
丸型の球根がある

[生活衛生室 29-1261]

「世界禁煙デー」「禁煙週間 5/31～6/6

5月31日はWHOが定めた世界禁煙デーです。たばこは吸っている本人の健康への悪影響だけでなく、周りの人のがんや心臓病、子どもの中耳炎、ぜんそくなどのリスクを高めます。
令和4年県民健康・栄養調査の結果では、県民の喫煙率は17.2%、ですが最上地域は22.7%と高い状況です。



禁煙が遅れるほど、動脈硬化により心疾患、脳血管疾患のリスクを高めます。この機会に、自分と周りの大切な人の健康について考えてみませんか。

[地域健康福祉課 29-1267]

適正受診にご協力をお願いします

近年、全国的に救急患者に占める軽症者の割合が増加しており、最上地域でも、緊急性の高い患者の治療に支障をきたすケースが発生しています。医療機関の適正受診にご協力をお願いします。

詳細はこちら（県ホームページ）
～急な病気やけがに備えて～医療機関を受診する際
のお願い【動画をご覧ください】

<https://www.pref.yamagata.jp/090013/kenfuku/iryo/iji/tekiseijushin.html>



[保健企画課 29-1256]

発行日：令和6年4月18日

発行元：山形県最上総合支庁総務企画部総務課

総合案内窓口

電話：0233-29-1360 FAX：0233-23-2605



X (旧 Twitter)



HP

